

委員会発案第 6 号

国民の命と健康を守るため安全・安心の医療・介護・福祉の実現を国に
求める意見書の提出について

国民の命と健康を守るため安全・安心の医療・介護・福祉の実現を求める意見書（案）
を、地方自治法第 109 条第 7 項及び由利本荘市議会会議規則第 14 条第 2 項の規定によ
り、別紙のとおり提出します。

令和 3 年 12 月 17 日提出

由利本荘市議会議長 伊 藤 順 男 様

提出者 由利本荘市議会教育民生常任委員会
委員長 佐 藤 健 司

(別紙)

国民の命と健康を守るため安全・安心の医療・介護・福祉の実現を求める
意見書（案）

新型コロナウイルスによる感染拡大は、経済活動や国民生活に深刻な影響を及ぼし、医療をはじめとした社会保障・社会福祉体制の脆弱さを鮮明にして、国民の命と健康が脅かされる事態が広がった。

このコロナ禍で明らかになったことは、感染症対策を中心的に担う公立・公的病院の役割の重要性、及び感染症病床や集中治療室の大幅な不足、医師・看護師・介護職員の人員不足、保健師の不足などである。

また、75歳以上の医療費窓口負担、介護保険料等の社会保険料負担、年金や生活保護基準の引き下げなど、国民の負担もますます重くなるばかりである。

コロナ禍における教訓は、医療・介護・福祉をはじめとした社会保障拡充の重要性である。国民の命と健康、暮らしを守り、新たなウイルス感染症や大規模災害に備えることが喫緊の課題となっている。

以上の趣旨から、下記事項につき、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

記

1. 保健所の拡充措置と医師・看護師・介護職・保健師等を増員すること。その拡充・増員計画を国民に示すこと。
2. 公立・公的病院の再編統合、再検証リストについて再考し、地域住民が医療の心配をしなくても暮らせるよう、感染症・一般・療養など種類を問わず病床数を拡充すること。また、公立・公的病院の拡充計画を国民に示すこと。

令和3年 月 日

内閣総理大臣 様
厚生労働大臣 様

秋田県由利本荘市議会議長 伊藤 順 男